

鹿児島県三島村黒島における2006年7月の昆虫類

中峯 浩司*・江平 憲治**・今村 久雄***

Insects Recorded in July, 2006 in Kuro-shima, Mishima-mura Kagoshima Prefecture.

Koji NAKAMINE・Kenji EHIRA・Hisao IMAMURA

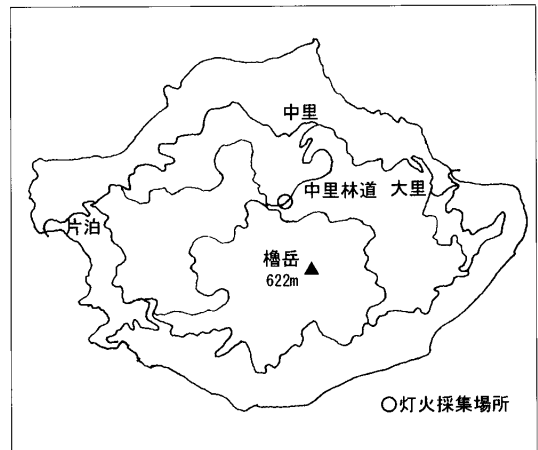
はじめに

九州本土と屋久島の間にある竹島，硫黄島，黒島は合わせて三島と呼ばれ，中でも樹林が最もよく発達している黒島の昆虫相は，九州本土と種子島・屋久島の昆虫相との関連を論じる際に重要な位置を占める。このため，当館に於いても三島とりわけ黒島の調査はトカラ列島の島々と共に，積極的に行ってきた。

当館による黒島の昆虫類調査としては，まず1986年10月に畑田健治による調査があり，第1報（畑田，1987），第2報（畑田，1990）として報告されている。次に，1995年9月に江平憲治・小野田繁による調査が行われ，トンボ類やアリヅカムシ類などが報告されている（江平・小野田，1996）。さらに2001年6月には福田晴夫・廣森敏昭が調査を行い，チョウ類などについて詳細な記録を残したうえに，セミ類とチョウ類からみた黒島の昆虫相について考察を試みている（福田・廣森，2002）。これらのほか，県内外の研究者やアマチュアによる調査が行われ，鹿児島昆虫同好会誌 SATSUMA などに報告されており，主な昆虫類についてはその生息状況が明らかになりつつある。

しかしながら，交通の不便さから調査が徹底しているとは言い難い。また，近年は島の中央部の高所を走る林道ができたことによる新たな採集ポイントの創出と，反面それらの工事による周辺植生への影響に伴う生息環境の悪化が見られる。さらには，ブユ類の駆除のために河川に定期的な殺虫剤投与が行われており（斎藤・佐藤，2005），温暖化現象やリュウキュウチクの蔓延などとも相まって，島の昆虫相は劇的とはいかなくても徐々に変化している可能性がある。

こうした状況の中，当館の調査研究活動の一環として，黒島に於いて昆虫類の調査を行う機会があったの



黒島調査位置図

* 〒892-0853：鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

** 〒890-8577：鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県教育委員会文化財課

*** 〒893-2301：肝属郡錦江町神川7258 錦江町立宿利原中学校

で報告する。

なお、本報文のうち、トンボ類の目録及び考察は江平・今村が、それ以外はすべて中峯が担当したことを予め断っておく。

1 調査日程と主な採集地

- 7月16日 鹿児島港 = フェリーみしま = 大里港
中里～片泊, 灯火採集 (中里林道)
- 7月17日 中里林道, 大里, 灯火採集 (中里林道)
- 7月18日 大里, 中里林道, 片泊
- 7月19日 大里港 = フェリーみしま = 鹿児島港

2 調査結果及び考察

同定はトンボ類を江平・今村が、それ以外を筆者が担当した。和名及び学名は、基本的に日本産昆虫総目録 (平嶋, 1989) に従ったが、ガ類については日本産蛾類大図鑑 (井上ほか, 1982) に従っている。目録中の [] は蛾類大図鑑のカタログ番号である。

記録に当たっては、採集した年はすべて2006年なので、これを省略して月日だけを示した。また、採集者はトンボ類以外については中峯によるものは特記せず、その他は江平または今村と記した。

ゴキブリ目 BLATTARIA

マダラゴキブリ科 *Epilampridae*

サツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* 大里 (1頭, 7月17日)

マダラゴキブリ *Rhabdoblatta guttigera* 中里林道 (1頭, 7月17日); 中里～片泊 (1頭, 7月17日)

チャバネゴキブリ科 *Blattellidae*

モリチャバネゴキブリ *Blattella nipponica* 中里林道 (1頭, 7月6日) (1頭, 7月17日)

カマキリ目 MANTODEA

カマキリ科 *Mantidae*

ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera* 大里 (幼虫1頭, 7月17日)

バッタ目 ORTHOPTERA

ケラ科 *Gryllotalpidae*

ケラ *Gryllotalpa fossor* 中里林道 (2頭, 7月17日)

コオロギ科 *Gryllidae*

タイワンエンマコオロギ *Teleogryllus taiwanemma* 大里 (1頭幼生, 7月18日)

ツコムシ科 *Phaneropteridae*

ヒメクダマキモドキ *Phaulula gracilis* 中里林道 (1頭, 7月16日)

キリギリス科 Tettigoniidae

クビキリギリス *Euconocephalus thunbergii* 大里 (1頭, 7月18日)

バッタ科 Acrididae

マダラバッタ *Aiolopus tamulus* 片泊 (1頭, 7月17日)

イナゴ科 Catantopidae

ハネナガイナゴ *Oxya japonica japonica* 大里 (1頭, 7月18日)

ナナフシ目 PHASMATODEA

ナナフシ科 Phasmatidae

トビナナフシ *Micadina phluetaenoides* 中里林道 (1♂1♀, 7月16日) (2♂1♀, 7月17日)

ヨコバイ目 HOMOPTERA

アオバハゴロモ科 Flatidae

アオバハゴロモ *Geisha distinctissima* 片泊 (1頭, 7月17日)

ハゴロモ科 Ricaniidae

ベッコウハゴロモ *Orosanga japonicus* 大里 (1頭, 7月17日)

セミ科 Cicadidae

ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi* 片泊 (3♂4♀, 7月17日), 大里 (1♂, 7月17日, 1♂, 7月18日) (1♂4♀, 7月18日, 今村), 中里林道 (1♂4♀, 7月16日)

ヒメハルゼミ *Euterpnosia chibensis chibensis* 中里林道 (23♂27♀, 7月16日)

ツクツクボウシ *Meimuna opalifera* 大里 (1♂鳴き声, 7月18日)

クロイワツクツク *Meimuna kuroiwae* 片泊 (1♂鳴き声, 7月17日)

前種とともに鳴き声はとても少なかった。竹島, 硫黄島では寄港した際にかかなりの数の鳴き声を聞いている。

アメンボ科 Gerridae

ヒメアメンボ *Gerris latiabdominis* 片泊 (5頭, 7月18日)

片泊小学校内の池で採集した。

シマアメンボ *Metrocoris histrio* 片泊 (2頭, 7月17日) (2頭, 7月19日); 中里林道 (1頭, 7月17日)

サシガメ科 Reduviidae

アカサシガメ *Cydnocoris russatus* 中里林道 (1頭, 7月16日)

ビロウドサシガメ *Ectrychotes andreae* 片泊 (1頭, 7月18日)

ナガカメムシ科 Lygaeidae

コマダラナガカメムシ *Spilostethus hospes* 大里 (1頭, 7月18日)

オキナワシロヘリナガカメムシ *Elasmolomus sordidus* 片泊 (1頭, 7月18日)

ホソヘリカメムシ科 Alydidae

ホソハリカメムシ *Cletus punctiger* 大里 (2頭, 7月18日)

オオホシカメムシ科 Largidae

オオホシカメムシ *Physopelta gutta* 中里林道 (1頭, 7月16日)

マルカメムシ科 **Plataspidae**

マルカメムシ *Megacopta punctatissima* 片泊 (2頭, 7月17日)

カメムシ科 **Pentatomidae**

キュウシュウクチブトカメムシ *Eocanthecona kyushuensis* 片泊 (1頭, 7月18日)

アカスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* 大里 (2頭, 7月17日)

チャバネアオカメムシ *Plautia stali* 中里林道 (1頭, 7月17日)

コウチュウ目 **COLEOPTERA**

ハンミョウ科 **Cicindelidae**

コハンミョウ *Cicindela specularis* 中里~片泊 (4頭, 7月16日); 大里 (1頭, 7月17日)
(14頭, 7月18日); 中里林道 (2頭, 7月17日) 各地で見られ, 場所によっては群棲する。

シロヘリハンミョウ *Cicindela yuasai yuasai* 大里 (1頭, 7月18日) (1頭, 7月19日)
砂防ダム下の河原と港で採集した。

オサムシ科 **Carabidae**

アトワアオゴミムシ *Chlaenius virgulifer* 中里林道 (1頭, 7月16日)

フタホシスジバネゴミムシ *Planetes puncticeps* 中里林道 (1頭, 7月16日)

クワガタムシ科 **Lucanidae**

ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* 中里林道 (5♂, 7月16日) ♀は飛来しなかった。

コクワガタ *Macrodercus rectus rectus* 中里林道 (2♂, 7月16日) (1♂, 7月18日) 灯火
に飛来した。

ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* 中里林道 (5♂8♀, 7月16日) (11♂
11♀, 7月17日) (1♂3♀, 7月18日); 大里 (1♂, 7月17日) 灯火に飛来した他に, バ
ナナの腐果にも集まった。

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

カドマルエンマコガネ *Onthophagus lenzii* 中里林道 (4頭, 7月16日) (1頭, 7月17日)

フタスジカンショコガネ *Apogonia bicarinata bicarinata* 大里 (1頭, 7月17日); 中里林道
(15頭, 7月16日) (1頭, 7月18日)

セスジカクマグソコガネ *Rhyparus azumai* 中里林道 (2頭, 7月16日)

クロコガネ *Holotrichia kiotoensis* 大里 (1頭, 7月17日) (1頭, 7月18日)

コクロコガネ *Holotrichia picea* 中里林道 (1頭, 7月16日); 大里 (1頭, 7月18日)

アオドウガネ *Anomala albopilosa albopilosa* 大里 (1頭, 7月17日); 中里林道 (97頭, 7
月16日) (1頭, 7月17日) 両日ともおびただしい数の本種が灯火に飛来した。中に背面
が茶色の個体が1頭混じっていた。

ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* 中里林道 (15頭, 7月16日)

コアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda* 片泊 (2頭, 7月17日); 大里 (1頭, 7月18日)

シロテンハナムグリ *Protaetia orientalis submarmorea* 片泊 (3頭, 7月17日), 大里 (19頭,

7月18日)

カナブン *Rhomborrhina japonica* 中里林道 (7頭, 7月18日) (23頭, 7月17日), 片泊 (3頭, 7月17日)

タマムシ科 Buprestidae

アヤムネスジタマムシ *Chrysodema lewisii* 大里 (1頭, 7月17日)

コクロナガタマムシ *Agrilus yamawakii* 片泊 (6頭, 7月17日)

ムネアカチビナカボソタマムシ *Nalanda rutilicollis rutilicollis* 片泊 (5頭, 7月17日); 大里 (2頭, 7月17日); 中里林道 (4頭, 7月17日)

カラカネクリタマムシ *Toxoscelus ssakii* 片泊 (2頭, 7月17日)

コメツキムシ科 Elateridae

サビキコリ *Agrypnus binodulus binodulus* 中里林道 (2頭, 7月16日) (1頭, 7月17日)

オオフタモンウバタマコメツキ *Paracalais larvatus larvatus* 中里林道 (1頭, 7月16日)

ミゾムネヒメサビキコリ *Agrypnus yuppe* 中里林道 (1頭, 7月17日)

クシコメツキの一種 *Melanotus* sp. 大里 (1頭, 7月17日); 中里林道 (1頭, 7月17日)

ケシキスイ科 Nitidulidae

アカマダラケシキスイ *Lasiodactylus pictus* 中里林道 (1頭, 7月16日)

テントウムシ科 Coccinellidae

エサキアカホシテントウ *Chilocorus esakii* 大里 (1頭, 7月19日)

クリサキテントウ *Harmonia yedoensis* 中里林道 (1頭, 7月16日)

オオフタホシテントウ *Lemnia bipagiata* 片泊 (2頭, 7月17日)

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

ズビロキマワリモドキ *Gnesis helopioides helopioides* 片泊 (1頭, 7月18日)

キマワリ *Plesiophthalmus nigrocyaneus* 中里林道 (1頭, 7月18日)

カミキリムシ科 Cerambycidae

ウスバカミキリ *Megopis sinica sinica* 中里林道 (2♂3♀, 7月16日) (1♀, 7月17日)

ツシمامナクボカミキリ *Cephalallus unicolor* 中里林道 (1頭, 7月16日)

リュウキュウヒメカミキリ *Ceresium fuscum fuscum* 中里林道 (1頭, 7月16日)

ニホンチャイロヒメカミキリ *Ceresium simile flavopubescens* 大里 (1頭, 7月17日)

フタオビミドリトラカミキリ *Chlorophorus muscosus* 片泊 (2頭, 7月17日) (1頭, 7月18日)

ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus* 片泊 (2頭, 7月17日)

ウスアヤカミキリ *Bumetopia japonica japonica* 大里 (1頭, 7月18日)

ナガゴマフカミキリ *Mesosa longipennis* 大里 (1頭, 7月17日)

アトモンチビカミキリ *Sybra baculina nipponensis* 片泊 (1頭, 7月17日)

アヤモンチビカミキリ *Sybra ordinata ordinata* 片泊 (1頭, 7月17日)

サビアヤカミキリ *Abryna obscura* 大里 (3頭, 7月17日) (1頭, 7月18日)

オオキハネナシサビカミキリ *Pseudale izumikurana* 中里林道 (2頭, 7月16日)

トカラヤハズカミキリ *Uraecha gilva gilva* 中里林道 (1頭, 7月17日)

リュウキュウルリボシカミキリ *Glenea chlorospila chlorospila* 中里林道 (2頭, 7月16日)

ハムシ科 **Chrysomelidae**

ウリハムシ *Aulacophora femoralis* 片泊 (1頭, 7月17日)

ヒメクロウリハムシ *Aulacophora lewisii* 大里 (1頭, 7月18日)

キイロクワハムシ *Monolepta pallidula* 片泊 (2頭, 7月17日); 中里林道 (1頭, 7月16日)

サメハダツブノミハムシ *Aphthona strigosa* 片泊 (2頭, 7月17日)

クビアカトビハムシ *Luperomorpha pryeri* 大里 (2頭, 7月17日)

ゾウムシ科 **Curculionidae**

サカグチクチブトゾウムシ *Oedophrys sakaguchii* 片泊 (2頭, 7月17日)

ツツゾウムシ *Carcilia strigicollis* 中里林道 (1頭, 7月16日)

ヒラヤマメナガゾウムシ *Aclees hirayamai* 中里林道 (1頭, 7月16日)

オサゾウムシ科 **Rhynchophoridae**

オオシロオビゾウムシ *Cryptoderma fortunei* 中里林道 (4頭, 7月17日) (6頭, 7月18日)

ハチ目 HYMENOPTERA

ミフシハバチ科 **Argidae**

ルリチュウレンジ *Arge similis* 片泊 (1頭, 7月17日)

ヒメバチ科 **Ichneumonidae**

ヒメバチ科の一種 **Ichneumonidae** sp. 大里 (1頭, 7月17日)

ツチバチ科 **Scoliidae**

ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella annulata* 片泊 (1♂, 7月17日)

ベッコウバチ科 **Pompilidae**

キバネオオベッコウ *Cyphononyx dorsalis* 片泊 (1♂, 7月17日)

キバネトゲアシベッコウ *Platydialepis ryoheii* 中里林道 (1頭, 7月17日)

ドロバチ科 **Eumenidae**

オオフタオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum* 中里~片泊 (1♀, 7月16日), 片泊 (1♀, 7月17日), 大里 (1♀, 7月18日)

スズメバチ科 **Vespidae**

セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae* 片泊 (2♀, 7月17日)

キアシナガバチ *Polistes rothneyi iwatai* 中里~片泊 (2♀, 7月16日), 片泊 (1♀, 7月17日)

アナバチ科 **Sphecidae**

コクロアナバチ *Isodontia nigella* 片泊 (1頭, 7月17日)

キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum* 中里~片泊 (1頭, 7月16日), 片泊 (1頭, 7月17日)

ハキリバチ科 **Megachilidae**

オオハキリバチ *Chalicodoma sculpturalis* 片泊 (1♂1♀, 7月17日)

ハエ目 DIPTERA

ムシヒキアブ科 *Asilidae*

ムシヒキアブ科の一種 *Asilidae* sp. 片泊 (1頭, 7月17日)

チョウ目 LEPIDOPTERA

<チョウ類>

セセリチョウ科 *Hesperiidae*

クロセセリ *Notocrypta curvifascia curvifascia* 大里 (1頭, 7月18日)

イチモンジセセリ *Parnara guttata guttata* 大里 (1頭, 7月17日, 江平) (1頭, 7月18日)

大里でわずかに植えられているイネに本種の幼虫が多数ついていたが、農薬を散布された後であり、ほとんどが死んでいた。

チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthueri* 大里 (1♀, 7月19日)

アゲハチョウ科 *Papilionidae*

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* 片泊 (1♀, 7月17日)

モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* 大里 (1♂, 7月17日)

キアゲハ *Papilio machaon hippocrates* 大里 (1♀, 7月19日)

クロアゲハ本土亜種 *Papilio protenor demetrius* 大里 (1♀, 7月17日, 江平)

アゲハ *Papilio xuthus* 片泊 (1♂, 7月17日)

シロチョウ科 *Pieridae*

モンシロチョウ *Artogeia rapae crucivora* 大里 (1♀, 7月17日, 江平) (1♂, 7月18日)

キチョウ *Eurema hecabe hecabe* 大里 (1頭, 7月18日)

シジミチョウ科 *Lycaenidae*

アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* 大里 (1♀, 7月18日)

片泊及び大里集落内にあるモクタチバナで本種のものと思われる食痕が多数確認できたが、成虫はこの1頭だけだった。

ムラサキツバメ *Narathura bazalus turbata* 中里林道 (2♂, 7月16日)

夕方5時頃、中里林道の標高300m付近で、道路に沿って活発に飛翔する姿が見られた。

ヤマトシジミ *Pseudozizeeria maha argia* 片泊 (2♂1♀, 7月17日); 大里 (1♂, 7月18日)

マダラチョウ科 *Danaidae*

リュウキュウアサギマダラ *Ideopsis similis similis* 大里 (1♂, 7月17日, 今村)

アサギマダラ *Parantica sita nipponica* 中里林道 (1♂, 7月18日, 今村)

島中央部の林道でも他には見当たらず、この時期にはかなり少ないと思われた。食草のツルモウリンカを大里港から集落へ上がる道路沿いで1株見つけたが、食痕はなかった。

タテハチョウ科 *Nymphalidae*

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius hyperbius* 片泊 (1♂1♀, 7月17日)

ルリタテハ本土亜種 *Kaniska canace nojaponicum* 大里 (1頭, 7月17日) (1頭, 7月18日)

各地で見られた。

<ガ類>

マルハキバガ科 **Oecophoridae**

チャノキホリマルハキバガ *Gasmara patrona* [1142] 中里林道 (3頭, 7月16日)

大図鑑によると本州, 九州, 対馬, 台湾, 中国南部に分布するとある。同属のホソバキホリマルハキバガ *G.Agronoma* とは色彩が異なり, 区別は容易。

メイガ科 **Pyralidae**

オオキバラノメイガ *Pleuroptya harutai* [1634] 中里林道 (1頭, 7月16日)

トサカフトメイガ *Locastra muscosalis* [1863] 中里林道 (3頭, 7月16日)

シャクガ科 **Geometridae**

カギバアオシャク *Tanaorhinus reciprocata* [2181] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ウスオエダシャク *Semiothisa hebesata* [2698] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ソトキクロエダシャク *Scionomia mendica* [2813] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ウスクモエダシャク *Menophra senilis* [2866] 中里林道 (3頭 7月16日)

カイコガ科 **Bombycidae**

クワコ *Bombyx mandarina* [2984] 大里 (1頭, 7月18日)

ヤママユガ科 **Saturniidae**

シンジュサン *Samia cynthia* [2990] 中里林道 (1頭, 7月16日)

スズメガ科 **Sphingidae**

シモフリスズメ *Psilogamma increta* [3005] 中里林道 (1頭, 7月16日)

トビイロスズメ *Clanis bilineata* [3018] 中里林道 (1頭, 7月16日)

クチバスズメ *Marumba sperchius* [3023] 中里林道 (1頭, 7月16日)

スズメガ科 **Sphingidae**

イッボンセスジスズメ *Theretra pinastrina* [3067] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ビロードスズメ *Rhagastis mongoliana* [3069] 中里林道 (2頭, 7月16日)

ドクガ科 **Lymantriidae**

ナチキシタドクガ *Calliteara nachiensis* [3197] 中里林道 (1頭, 7月16日)

マイマイガ *Lymantria disper* [3218] 片泊 (1♂, 7月17日)

後翅の大部分が白く, 種子島・屋久島に産する亜種 *postabla* と同じと思われる。

ミノモマイマイ *Lymantria minomonis* [3223] 中里林道 (2頭, 7月16日)

ヒトリガ科 **Arctiidae**

ツマキホソバ *Eilema deplana* [3248] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ヒトテンアカスジコケガ *Bizone unipunctata* [3272] 中里林道 (1頭, 7月16日)

ウスベニコケガ *Miltochrista striata* [3297] 中里林道 (2頭, 7月16日)

ヤガ科 **Noctuidae**

ウラギンキヨトウ *Aletia pryeri* [3626] 中里林道 (1頭, 7月16日)

マダラツマキリヨトウ *Callopietria repleta* [3940] 中里林道 (1頭, 7月16日)

- フタトガリコヤガ *Xanthodes transversa* [4117] 中里林道 (1頭, 7月16日)
イチジクキンウワバ *Chrysodeixis eriosoma* [4165] 中里林道 (1頭, 7月16日)
クロスジユミモンクチバ *Melapia japonica* [4229] 中里林道 (5頭, 7月16日)
ムクゲコノハ *Lagoptera juno* [4239] 中里林道 (1頭, 7月16日)
フクラスズメ *Arcte coerulea* [4241] 中里林道 (1頭, 7月16日)
オオトモエ *Erebus ephesperis* [4247] 中里林道 (1頭, 7月16日)
キンモンエグリバ *Plusiodonta coelonota* [4277] 中里林道 (1頭, 7月16日)
オオルリオビクチバ *Ischyja manlia* [4288] 中里林道 (1頭, 7月16日)
オオシロテンクチバ *Hypersynoides submarginata* [4299] 中里林道 (1頭, 7月16日)
ウスグロクチバ *Avitta puncta* [4322] 中里林道 (3頭, 7月16日)
クロキシタアツバ *Hypena amica* [4453] 中里林道 (1頭, 7月16日)
ニセフジロアツバ *Adrapsa subnotigera* [4498] 中里林道 (1頭, 7月16日)

トンボ目 ODONATA

(成虫)

オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

大里～片泊 (7月16日, 1♂, 中峯; 1♀, 江平) (7月17日, 4♂ 1♀, 中峯; 2♂, 江平)
(7月18日, 1♂, 今村; 1♀, 中峯; 1♀, 江平)

ミナミヤンマ *Chlorogomphus brunneus costalis*

中里～片泊 (7月17日, 1♀, 中峯); 大里 (7月18日, 1♂, 中峯); 中里～大里 (7月18日,
1♂, 今村; 1♂, 江平)

ヤンマ科 Aeshnidae

オオギンヤンマ *Anax guttatus*

大里～中里 (7月18日, 1♂目撃, 今村)

トンボ科 Libellulidae

タイワンシオカラトンボ *Orthetrum glaucum*

中里～片泊 (7月16日, 1♀, 中峯), 片泊 (7月17日, 2♂, 中峯)

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*

中里～片泊 (7月16日, 1♂, 江平), 中里～大里 (7月16日, 1♂, 江平), 片泊 (7月17日,
3♂, 中峯), 大里 (7月17日, 2♂ 1♀, 江平), 中里～大里 (7月18日, 1♂, 今村; 1♂,
江平)

ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

大里～片泊 (7月18日, 1♀, 中峯)

(幼虫・羽化殻)

オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

大里～中里（7月17日，2幼虫，今村）

ミナミヤンマ *Chlorogomphus brunneus costalis*

大里～中里（7月17日，2幼虫，今村）

ヤンマ科 Aeshnidae

ミルンヤンマ *Planaeschna milnei*

大里～中里（7月17日，2幼虫，今村）

ギンヤンマ *Anax parthenope julius*

片泊（7月18日，2幼虫，今村）

トンボ科 Libellulidae

オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania*

大里～中里（7月17日，2幼虫，今村）

ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

片泊（7月17日，2幼虫2羽化殻，今村）

注）幼虫の同定は松木和雄氏（日本トンボ学会会員）に依頼した。

○ 考察

1 オニヤンマ *Anotogaster sieboldii*

(1) 黒島産の体型（大きさ）について

オニヤンマは日本産トンボ類中最大の種であるが，図鑑等によると北海道，東北や山岳地帯などの寒冷地に産する個体は小さく，西南日本低地の暖地に産する個体は概して大きく，島嶼の伊豆諸島御蔵島，本県屋久島の個体などは小型になる傾向があるという。今回採集した黒島産6♂3♀について，腹長及び後翅長を計測し，結果は下表のとおりであった。

♂	記号	腹長 (mm)	後翅長 (mm)
	A	61.0	50.5
	B	61.0	51.0
	C	63.0	52.0
	D	63.0	52.0
	E	63.5	53.0
	F	64.0	53.0
	平均	62.58	51.92

♀	記号	腹長 (mm)	後翅長 (mm)
	G	63.0(70.0)	58.0
	H	63.5(70.0)	57.0
	I	66.5(73.5)	59.5
	平均	64.3(71.17)	58.17

注) 腹長は腹部の第1腹節から第10腹節までの長さを示す。♀の腹長の()内の数値は、産卵器官の長さまで含む。

原色日本トンボ幼虫成虫大図鑑(1999年、杉村他)によると、日本産オニヤンマの腹長は♂59~76mm、♀75~86mm(産卵器官の先端まで)で、後翅長は♂48~58mm、♀54~66mmとある。この最小値より下表の黒島産♂♀の平均値は腹長♂+4mm、♀-4mm。後翅長♂+4mm、♀+4mmであった。このことから、黒島産は国内産最小値より+4mm程度だが、西南日本低地の暖地産の個体は概して大きいことから判断するとやや小型であるという島嶼の特徴を示し、特に♀の腹長が短いことがわかった。

(2) 黒島産の形態について

原色日本トンボ幼虫成虫大図鑑(1999年、杉村他)によると、屋久島産の個体は小型で黒化傾向が強く、♂の中には腹部第2節の黄色斑が側面で途切れている個体もあるとある。手元に屋久島産の標本がなく詳しく比較できないが、県本土産と黒島産を比較してみると、黒島産は本土産よりわずかに黒化の傾向が見られるものの、屋久島産ほど顕著ではないものと思われる(図A-1, 2参照)。なお、♀においても同様の傾向が見られた。

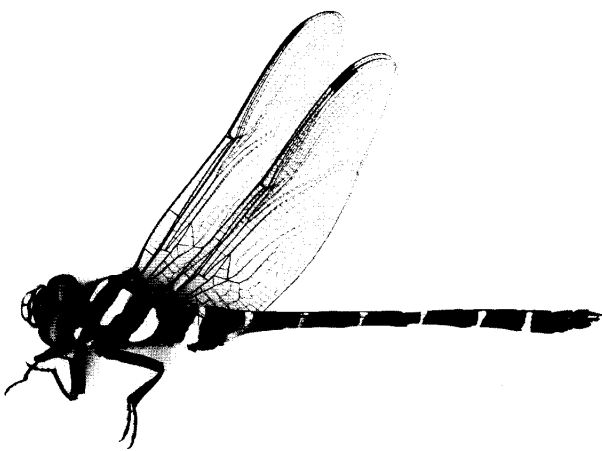


図 A-1 オニヤンマ♂ 県本土(出水市産)

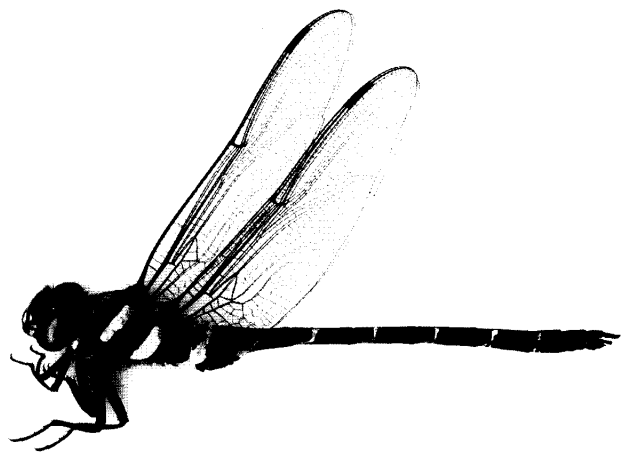


図 A-2 オニヤンマ♂ 黒島産

2 ミナミヤンマ *Chlorogomphus brunneus costalis*

黒島産の形態について

原色日本トンボ幼虫成虫大図鑑（1999年、杉村他）によると、♀について薩摩半島中部の木床峠の個体群は翅の前縁の帯が細いが、大隅半島先端の佐多岬とその周辺に産するものは翅の帯がはっきりしていて、種子島・屋久島産のものとはほぼ同じタイプに入るとある。黒島産は薩摩半島産より明らかに翅の帯がはっきりしており（図B-1、2参照）、薩摩半島産より種子島・屋久島産のものに近いことがわかった。

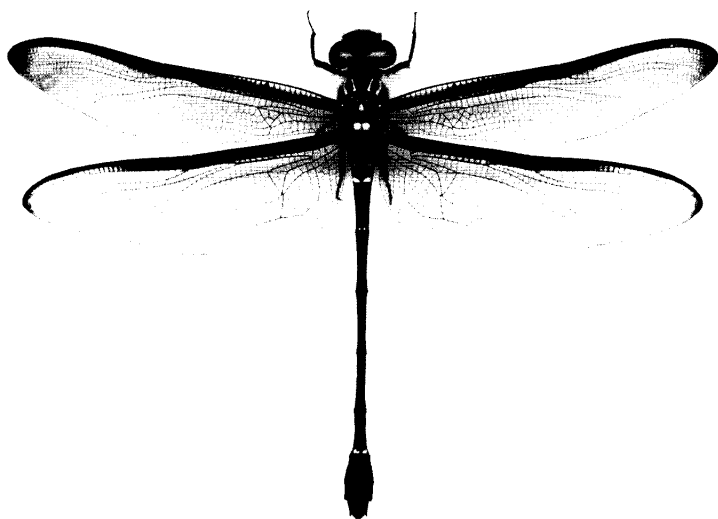
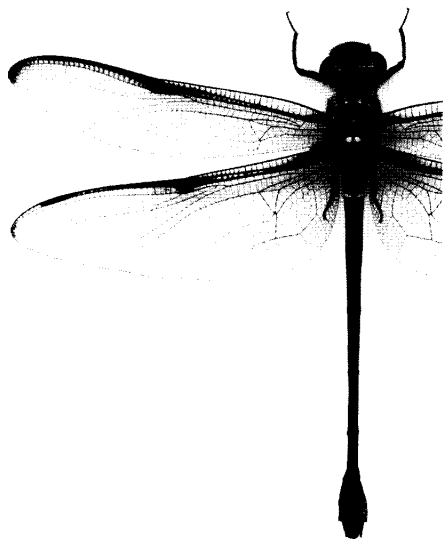


図 B-1 ミナミヤンマ♀ 県本土（南さつま市産）

図 B-2 ミナミヤンマ♀ 黒島産

3 オオギンヤンマ *Anax guttatus*

これまで黒島での本種の記録はなく、黒島新記録種となる。本種は本県本土でも記録される代表的な迷トンボのひとつであることから偶産の可能性が高いと思われる。

おわりに

三島村は2006年6月29日、十島村に倣った形で昆虫保護条例を制定し、村有地内での昆虫採集を禁止した。条例が制定されることになった原因は、十島村と同じく島外者によるクワガタ類の乱獲にあると聞く。その乱獲の引き金になった要因はというと、ミシマイオウノコギリクワガタ及びクロシマノコギリクワガタというこの地の名前がついたクワガタムシの存在が知られるようになったことにあるようだ。クワガタムシ採集者のマナーの悪さもいろいろ耳にするが、地元の名前がついているというだけで条例まで作らせる、この昆虫の価値や魅力とは一体何だろうかと思ふ首をかしげたくなる。ともかく、今回の調査はこの条例制定直後となり、急きょ三島村役場から採集許可を得た上での調査となった。迅速な対応をとっていただいた同役場にはこの場を借りてお礼申し上げたい。

しかしながら、法の網を掛けることは、特定の昆虫の保護にはある面有効かも知れないが、アマチュアの研究者が入る機会が減ることにより、今後この地域からの記録は激減すると考えざるを得ない。最も懸念されることは、昆虫相が未解明の状態のまま開発という名の下に環境破壊だけが進んだり、知らぬ間にこれまでいた種が消滅したり、新しい種が入り込んだりすることである。よって三島村には条例の弾力的な運用と自前による定期的かつ継続的な昆虫相調査を期待するとともに、特に子どもたちの意識や活動が、一面的な自然保護のそれに偏らないように見守っていただくようお願い申し上げる次第である。

同定に用いた図鑑

- 井上 寛ほか，1982，日本産蛾類大図鑑Ⅰ・Ⅱ．講談社．
- 林 匡夫ほか，1984～1985，原色日本甲虫図鑑Ⅱ～Ⅳ．保育社．
- 山根正気・幾留秀一・寺山守，1999，南西諸島産有剣ハチ・アリ類検索図説．北海道大学図書刊行会．
- 友国雅章 監修，1993，日本原色カメムシ図鑑．全国農村教育協会．
- 安松京三ほか，1965，原色昆虫大圖鑑(Ⅲ)．北隆館．
- 福田晴夫ほか，2005，昆虫の図鑑 採集と標本の作り方．南方新社．
- 秋山黄洋・大桃定洋，2000，世界のタマムシ大図鑑．月刊むし・昆虫大図鑑シリーズ4，むし社．
- 川井信矢ほか，2005，日本産コガネムシ上科図説 第1巻 食糞群．昆虫文献六本脚．
- 木元新作・滝沢春雄，1994，日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説．東海大学出版会．

引用文献

- 斎藤一三・佐藤英毅，2005，鹿児島県三島村黒島産ブユ科 (Simuliidae) の種目録．SATSUMA55 (133)．
- 平嶋義宏 監修，1989，日本産昆虫総目録．九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター．
- 畑田健治，1987，黒島の昆虫相 (第1報)．鹿児島県立博物館研究報告，第6号，9-12．
- 畑田健治，1990，黒島の昆虫相 (第2報)．鹿児島県立博物館研究報告，第9号，5-8．
- 江平憲治，小野田繁，1996，鹿児島県・黒島の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告，第15号，39-48．
- 福田晴夫・廣森敏昭，2002，鹿児島県三島村黒島2001年6月の昆虫類．鹿児島県立博物館研究報告，第21号，27-46．